



日本海藻協会ニュース

2009年12月15日

・協会事務局から

1. 「海藻資源」No.21 発行

会誌「海藻資源」No.21 が間もなく発行されます。年内には会員各位のお手元に届く予定です。

2. 「海藻資源」の原稿募集

会誌「海藻資源」No.22(2010年6月発行予定)の原稿を募集しています。投稿締切りは2010年2月25日です。原稿はarugay@mx4.ttcn.ne.jp宛にお送りください。

・海藻関連ニュース

1. 平成21年度てんぐさ概況

平成21年度(21.4.~21.12.)のてんぐさ入札会は平成21年11月25日、静岡県第6回入札会をもってすべて終了しました。第6回は仁科浜のみの9,900 kgの出品で、価格面では前回(10月21日)より上品が8%、並品が2%ほど下落しました。平成21年の推定生産量は441ト、対前年比約35%減、対一昨年比約52%の大幅な減産でした。これは過去10年間の最低年であった平成15年の537トを下回る数字です。最終数量は来年4月に報告予定で、現在の推定値より多少増えると思われませんが大幅に少ないことには相違ありません。(株)森田商店調べ。詳細は添付資料をご覧ください。)

2. 日本藻類学会第34回大会

日本藻類学会第34回大会が2010年3月19-21日に筑波大学(茨城県つくば市)で開催されます。詳細は「藻類」57巻3号(2009年11月発行)または<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsp/taikai34/taikai-34.html>をご覧ください。

3. 日本水産学会春季大会

平成 22 年度日本水産学会春季大会が 2010 年 3 月 26 - 30 日に日本大学生物資源科学部（神奈川県藤沢市）で開催されます。詳細は下記サイトをご覧ください。<http://www.gakkai-web.net/gakkai/jsfs/kaikoku/index.html>

4. 第 20 回国際海藻シンポジウム (XX ISS)

国際海藻協会 (International Seaweed Association, ISA) 主催の第 20 回国際海藻シンポジウム (The XX International Seaweed Symposium, XX-ISS) が 2010 年 2 月 21 - 26 日にメキシコのエンセナダ (Ensenada, Baja California) で開催されます。詳細は <http://www.xxseaweedsymposium.org> で Second Circular をご覧ください。

5. 国際藻類研究シンポジウム

インドの Banaras Hindu University の Centre for Advanced Study in Botany 主催の国際藻類研究シンポジウム (International Symposium on Phycological Research, ISPR-2010) が 2010 年 2 月 25 - 27 日にインドの Varanasi で開催されます。世界の大学、研究所、企業などから先導的研究者の参加が期待されており、シアノバクテリア (藍藻) を含む藻類研究の全般にわたるシンポジウムです。藻類の多様性・種分化・進化、共生、ストレス下の藻類、藻類分子生物学・ゲノミクス・プロテオミクス・メタボロミクス、藻類バイオテクノロジー、藻類と医薬・機能性食品・毒物質・生体分子・薬物/抗生物質、藻類と生物的環境浄化、藻類と環境/生態学などのテーマが挙げられています。参加登録料は 2009 年 12 月 31 日までが US\$200 (同伴者 US\$100) それ以後は US\$250 (同伴者 US\$150) 当日登録は US\$300 (同伴者 US\$200) です。参加登録、要旨提出、宿泊申込みの期限はいずれも 2009 年 12 月 31 日です。詳細はウェブサイト www.ispr2010.org.in をご覧ください。

6. 第 5 回ヨーロッパ藻類学会議

ヨーロッパ藻類学会連合 (European Union of Phycological Societies) 主催の第 5 回ヨーロッパ藻類学会議 (The 5th European Phycological Congress, EPC5) が "Exploring the Phycocosmos: A European Perspective" をテーマに 2011 年 9 月 4 - 9 日にギリシャのロードス島 (Rhodos Palace Hotel) で開催されます。詳細はウェブサイト www.epcv.gr をご覧ください。

． カレンダー

2010.2.21-26. 第 20 回国際海藻シンポジウム (メキシコ、エンセナダ) (No.19)

2010.2.25-27. 国際藻類研究シンポジウム (インド、ヴァラーナシ)

2010.3.19-21. 日本藻類学会第 34 回大会 (つくば市、筑波大学)

2010.3.26-30. 平成 22 年度日本水産学会春季大会 (藤沢市、日大・生物資源科学部)

2011.9.4-9. 第 5 回ヨーロッパ藻類学会議 (ギリシャ、ロードス島)

． 会員会社の製品等の案内

1. 新刊書紹介

矢澤一良 (編著): 「**アスタキサンチンの科学**」 A5 判・168 頁. 定価 2,940 円(税込)・送料 390 円. 成山堂書店 (2009).

能登谷正浩 (編著): 「**カジメ属の生態学と藻場造成**」 A5 判・148 頁. 定価 2,835 円. 恒星社厚生閣 (2009).

． 海藻 Q & A

Q22 - 「とろろこんぶ」(商品名)はトロロコンブ(種名)からつくられますか？

A - 褐藻コンブ科のトロロコンブ属 (*Kjellmaniella*) に属するトロロコンブは学名を *K. gyrata* といいます。食品として販売されている「とろろこんぶ」はトロロコンブからつくられるのではなく、コンブ属 (*Laminaria*) の乾燥品で規格外のいわゆる“雑こんぶ”の肉厚のものを稀薄な酢で軟化伸展し、包丁または鉋(かんな)で薄く削ったものです。色素の多い表層の部分は“黒とろろ”または“おぼろこんぶ”(朧昆布)と呼ばれるものに、髓層の部分は上質の“白とろろ”と呼ばれるものになります。なお、天然コンブの産地は北海道沿岸及び東北地方太平洋沿岸であり、北海道、青森県、岩手県の沿岸に生育する主要な有用コンブ類はマコンブ (*L. japonica*)、ミツイシコンブ (*L. angustata*)、オニコンブ (*L. diabolica*)、ナガコンブ (*L. longissima*)、リシリコンブ (*L. ochotensis*)、ホソメコンブ (*L. religiosa*)、ガツガラコンブ (*L. coriacea*)、ガゴメ (*K. crassifolia*) の 8 種です。

これまでのQ & A

- Q1 - 「海藻」と「海草」は同じですか。(No.2 に掲載)
- Q2 - ノリの「色落ち」って何ですか。(No.2 に掲載)
- Q3 - 海藻が多様な色彩を呈するのはなぜか?(No.3 に掲載)
- Q4 - コンブやワカメは湯通しするとなぜ緑色になるのか? 焼き海苔はなぜ緑色か(No.3 に掲載)
- Q5 - 海苔が湿気ると赤紫色になるのはなぜか?(No.3 に掲載)
- Q6 - テングサという種名の海藻はないのですか?(No.4 に掲載)
- Q7 - 「うみぶどう」は海藻の名前ですか?(No.5 に掲載)
- Q8 - 「キラー海藻」って何?(No.6 に掲載)
- Q9 - 日本の海苔は輸出されていますか?(No.6 に掲載)
- Q10 - 「髪菜(はっさい)」は海藻ですか?(No.7 に掲載)
- Q11 - 中国で栽培(養殖)されているノリは日本のノリと同じですか?(No.8 に掲載)
- Q12 - 「岩のり」と「青のり」は違うものですか?(No.9 に掲載)
- Q13 - 「心太」と書いて「トコロテン」と読むのはなぜですか?(No.10 に掲載)
- Q14 - 「鰯浦こんぶ」はコンブですか?(No.11 に掲載)
- Q15 - 日本産海苔の輸出状況はどのようになっていますか?(No.12 に掲載)
- Q16 - 「磯焼け」って何?(No.13 に掲載)
- Q17 - 「寒天」と「ところてん(心太)」はどう違うのですか?(No.14 に掲載)
- Q18 - 「はんぱ」って何?(No.15 に掲載)
- Q19 - 「みずこんぶ(水こんぶ)」とは?(No.17 に掲載)
- Q20 - わかめ(若布)の製品にはどのようなものがありますか?(No.18 に掲載)
- Q21- 有毒な海藻はありますか?(No.19 に掲載)

この協会ニュースは、主として会員の皆様からの情報・資料に基づいて、月1回(毎月15日付で)発行されます。情報・資料を下記宛にご提供下さい。

〒101-0031 東京都千代田区東神田 2-1-11 第一坂本ビル 7F
マリン・サイエンス株式会社 内

日本海藻協会事務局

編集者：有賀祐勝 (arugay@mx4.ttcn.ne.jp)